

第一席

文學帖 第十三号

私立名古屋高等学校

名古屋中高文学部文學帖第十三号をお手に取っていただきありがとうございます。この二〇二二年、コロナ禍の中、皆様がこの本で少しでも楽しんでいただけたら、編集者冥利に尽きます。

今号の大きな見どころと致しましては、「高野ムツオ先生との対談」震災から十年、震災と向き合い俳句を詠み・伝えることとは」と題しまして高野ムツオ先生との対談の記録を掲載しております。俳句という詩形、ことばで、読み・伝えてゆくことの大切さを伺いました。

他にも「俳句自選五・七句連作」やテーマ活・道・白と題した小説、評論、私の作品ですが短歌十五首連作、あなたが今気になる〇〇というテーマのコラムなど、ポリューミーかつこつてりとした一冊に仕上がっております。胃もたれにはご注意ください。



なお、「文学部」という名前に
は顧問の大雅先生の、小説、短
歌、詩、俳句までの幅広い分野
を、読むだけに限らず、研究す
るまなざしを持つという意味合
いが込められています。そんな
僕らの全力投球の一冊、最後ま
で見届けてくださいませ。

(二年 芳谷 優斗)

第二席

こんぺいとう 第十九号

愛知県立常滑高等学校

私たち常滑高校文芸部は、毎週月、水、金曜日の週三日間、小説、詩、エッセイ、短歌、俳句、川柳などの創作と、定期的に新しい企画を立て、部員みんなで挑戦し、発表、鑑賞しながら、自身の能力を高められるよう活動しています。

部員たちの作品はコンクールに応募するだけでなく、それらを載せた部誌『こんぺいとう』を年に二回発行しています。そして、自身の一年間の作品を載せた個人誌の作成もしています。

今号の創作テーマは「五感」です。部員各々の五感をフルに使い、観察して表現することを心掛けました。部員たちの個性が最大限に活かされたユーモア溢れる部誌になっています。そして、部員で考えた企画が部誌をさらに盛り上げています。

また、編集作業には、先輩が全国大会で学んできたことを活かそうと、



時間の許す限り携わってくれました。私たち後輩にとっても大きな学びとなりました。
今後も新しいことに挑戦し、経験や失敗、努力などを糧にして、より魅力的な作品を創作することができるよう、活動を続けていきたいと思っています。

(二年 中神 隼)

第三席

岡東文芸部誌 第七号

紫陽花 — Hydrangea —

愛知県立岡崎東高等学校

今回の部誌では、初めて部員全員が小説を提出しました。青色の解釈を『爽やか・青春』というイメージとして捉えた部員もいれば、『ホラー・怖いもの』として捉えて作品を制作した部員もいます。皆様は『青』と聞いて、どんな印象を持つでしょうか。色は、色彩という観点を除くと決まった形が無いです。皆様の思う青を、皆様の言葉で、表現してみたいかがでしょうか。

(二年 岩切こころ)



晨星 74

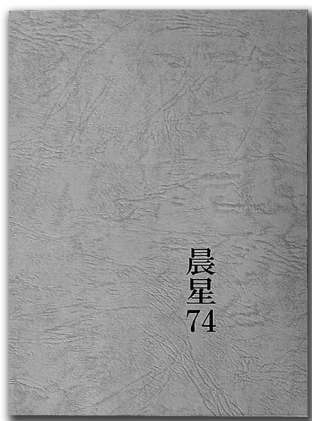
愛知県立熱田高等学校

私たち熱田高校文芸部は、いつも穏やかな雰囲気で行っています。部誌「晨星」は、年に一度制作をしています。収録されている作品は、文章だけでなくイラストのものもあります。今回の「晨星」は前年度のもの比べて三倍以上のページ数があり、特に気合が入っています。

今年度の「晨星」には先輩方が行った、決められたテーマに沿って作品を書く企画を取り入れています。今回のテーマは「星」で、イラスト二作品と散文三作品が収録されています。

企画以外の作品もイラスト含め多数収録されていますので、どこかダークな雰囲気をもとったものから、爽やかで透き通るような作品まで揃った少し欲張りな一冊となっています。

(一年 弓納持愛菜)



ユニコーン 一九五号

愛知県立安城高等学校

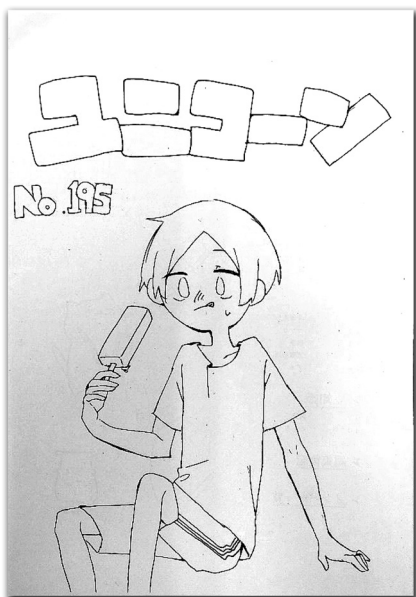
Literature club

愛知県立岩津高等学校

数時間君と語らひ夏の夕

文芸誌「ユニコーン」の創刊は、一九八六年（昭和六十一年）です。小説・詩・短歌・俳句の創作やイラストを描いています。俳句では、先輩たちが全国俳句大会で多数入選を果たしています。日本語の奥深さと向き合う日々です。

（二年 伊藤 心晴）

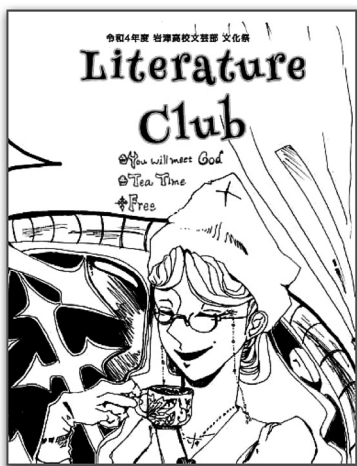


岩津高校新部長、一年生の酒井です。岩津高校の文芸部は週一日活動しています。年に三回部誌を発行しており、どれも期限ギリギリまで推敲し厳選した言葉遊びの宝庫です。

今回は、「You will meet god」、「tea time」、「自由」の三つのテーマでそれぞれ思うがままに文を綴りました。表紙、挿絵など、私たち一年生が担当し、バラエティーに富む作品が爆誕！ 全員大変満足気でした。コンクールに出すことはありませんが、隠れた名作が盛りだくさんの部誌となっております。

今後も先輩後輩関係なく、アドバイスを出し合ひより良い作品を生み出していききたいと思えます。

（二年 酒井 和華）



文芸幸田 37号

愛知県立幸田高等学校

私たち幸田高校文芸部は平日週四日、俳句や短歌を中心に日々創作に励んでいます。

今回の文芸幸田のテーマは「食べ物」です。また、俳句甲子園地方大会、全国大会で感じたことや、学んだことなどを綴った感想文もあります。

部員一人一人の個性がとてよく出ている一冊になっています。ぜひ一度手に取って、楽しんで頂けたら幸いです。

(二年 齋藤花央梨)



薄暮

名古屋市立向陽高等学校

向陽高校文芸部は、春夏秋冬それぞれの季節に季刊誌を、そして博覧会という世間一般的には文化祭と呼ばれる催しの際には、四つの部誌を刊行しています。ここではそのひとつである、薄暮について紹介させていただきます。

今回の博覧会の部誌の表紙は、趣向を変えて、それぞれの部誌に掲載されている各作品のキーワードとなるものが表紙に描かれています。そして、一際目を引き、思わず一度部誌を手に取りたくくなるような顔も描かれています。他の三つにも同じように顔が描かれており、その顔にはとある秘密が隠されています。今回は特に印象が強かった薄暮を選ばせていただきました。



博覧会の部誌は総勢二十一名の部員全員の作品が集まる部誌となっています。そこには、私たち向陽高校文芸部一人一人の個性が溢れんばかりに存在しているでしょう。

(二年 石野純太郎)

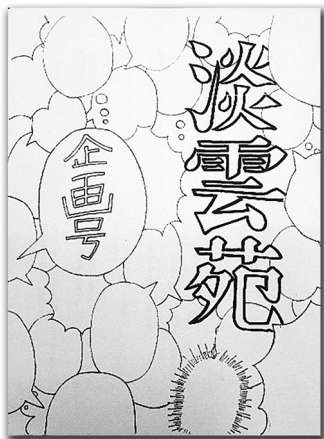
淡雲苑 企画号

名古屋市立桜台高等学校

桜台高校文芸部では季節や学校行事に合わせて毎年十冊ほど部誌「淡雲苑」や漫画創作部とのコラボ号を発行しています。

企画号では一人一つお題となる文章を考えて、くじ引きでお題を振り分け、お題となった文章から物語を創作します。今回も個性の光る台詞をどう活かすのか、それぞれが想像力を膨らませて書いた素敵な物語がたくさん集まりました。恋愛やホラー、ファンタジーなど、普段書かないジャンルに触れた部員も多く、新しい魅力に気づくことにも繋がったのではないかと感じています。

先生や先輩の助言とお力添えを頂き、素敵な部誌がうまれました。読んでくれた人がお気に入りの作品に出会うことができたら、とても嬉しく思います。



います。これからも素晴らしい作品を多く作りだしていきたいです。

(二年 天野 真緒)

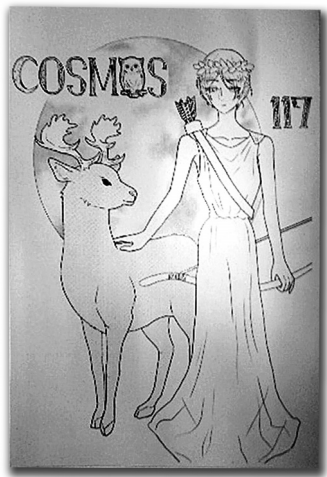
COSMOS 第百十七号

愛知県立時習館高等学校

時習館高校文学部では、日々部員が自由に活動しており、創作活動を心から楽しんでいきます。また、ゲームを行うことで楽しみながら文学的なスキルを高めることができます。学年の壁を越えて仲が良く、あたたかい部活です。

『COSMOS』は部員たちの手で製作されています。一年に二冊作成しており、秋は文化祭で販売し、春は新入生・卒業生に配布しています。小説以外にも、漫画、詩、イラスト、付け句など様々な作品が掲載されています。どの作品も個性的で、素晴らしいものばかりです。

より素晴らしい作品を作っていけるように部員一同頑張っていきたいです。



(二年 森田みゆ香)

イナカプレス 第一三九号

愛知県立成章高等学校

戯言

愛知県立千種高等学校

私たち成章高等学校文芸部は、十人程度の少人数ながら、毎日和やかに創作活動に励んでいます。年に一度の「成章祭」では部誌『イナカプレス』を発行し、生徒や一般の方へ配布しています。

さて、今年の『イナカプレス』の舞台は私たちの故郷「田原市」です。「田原市」は田舎です。特に有名なものはありません。ですが、私たちがなりに故郷を見つめ、田原市についてたくさん調べ、少しでも魅力が伝わるように一つ一つの作品を丁寧に書き上げました。また一年間かけて田原や渥美半島の色々なシーンを写真に撮りました。部員全員の力で完成させたこの『イナカプレス』。手に取ってくださった方々に少しでも田原市の魅力を感じていただけたら嬉しいです。

この『イナカプレス』は私たちの青春です。

(二年 林 穂乃花)



私たち千種高校文芸部は、五人という少ない人数で活動しています。十人十色ならぬ、五人五色の好みがあり、部室には、様々なジャンルの小説や漫画、カードゲームやボードゲームなどがあります。ミステリー好きの部長、水泳部から文芸部へ転部してきた文武両道の副部长、二年生が二人。恋愛小説好きの可愛いオタクの私、表紙絵も文章も創作できるファンジー好きの純粹妖精さん、どんなジャンルもお手の物オールマイティ男子、一年生三人です。部員は少ないですが、楽しくやっています。

近々、以下のイラストを表紙にした部誌『戯言』を発行する予定。千種高校六十周年にちなんで「60」をテーマとした作品を集めました。機会があれば、ぜひお手に取ってご覧ください。

(二年 佐藤 美月)

蝉時雨 第三号

愛知県立知立東高等学校

部活動紹介

愛知県立豊田東高等学校

文芸同好会は、今年で三周年を迎える新進気鋭の同好会です。普段は作品の考察や解釈、二つの題に基づいて創作する三題、俳句など、あらゆる「文芸」にまつわる活動にいそんでいます！

そんな我ら文芸同好会は、毎年六月初頭に開かれる「知立東のつどい」、いわゆる文化祭では、部員が作品を持ち寄り、『蝉時雨』という部誌を発行しています。今年で第三号となり、それぞれ個性豊かな作品を執筆しました。また「時雨ちゃん」というイメージキャラクターがあり、部誌の刊行と共に文芸同好会一期生から受け継いでおります。

我ら知立東高等学校文芸同好会、そして『蝉時雨』をよろしくお願いたします！

(二年 チン フンザン)



私たち豊田東高校文芸・イラスト部は、三年生十名、二年生十一名、一年生十二名が所属し、三年生は、文化祭後、引退しており、現在、総勢二十三名で精力的に活動しています。

日頃の活動は、毎週月曜日と木曜日に決められたテーマに沿ったイラストを描き、批評しあうことで画力向上に努めています。学年の垣根が無く仲良く活動しています。ただ、残念なことは、小説などの文芸作品の執筆活動を行うことができるのですが、最近、希望する生徒が少ないことです。

日頃の活動の他に、大きな行事が二つあります。一つは、文化祭で、テーマに沿った部員一人ひとりの作品を収録した部誌やイラストボード・缶バッジなどを制作し販売しています。もう一つは、三月下旬に、総合文化部合同発表会があり、豊田参合館内大ホールのロビーで展示を行っています。

自由な校風の中で、伸び伸び充実した日々を送っています。

(二年 田辺 あゆ)

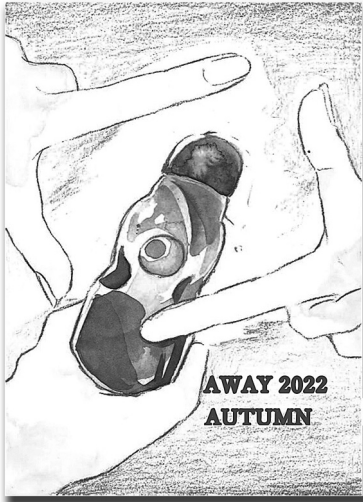
AWAY 2022 AUTUMN

愛知県立豊橋西高等学校

豊橋西高等学校文芸部は、週に三回、俳句・短歌などの創作を中心に活動を行っています。言葉を使って表現する楽しさを大切にしながら、皆で切磋琢磨しています。

今回の部誌のテーマは「十八歳」です。今年から、成人年齢の引き下げによって私たち高校生は十八歳にして大人へとなりました。「大人」とはなんだろう。「十八歳」とは何だろうという疑問について、私たちなりにこの部誌で探してみることにしました。企画では、校長先生や外国籍の方、定時高校の生徒さんにインタビューをして、十八歳について考えています。小説、詩、短歌、俳句などの様々なジャンルで表現された十八歳のリアルを、どうぞお楽しみください。

(二年 山口 詩織)



Crossed World

愛知県立豊橋東高等学校

私たち豊橋東高校文学部は、小説、イラストを中心として、年に三冊子の制作を行っています。

異世界をテーマとして制作した今年の文化祭冊子「Crossed World」は、個人作品だけでなく、五人の合作小説「廻天世界」の制作もしました。それぞれの想像世界を同じ主人公が旅をします。それぞれの世界が矛盾を生まないように練ったり、それとなく伏線を張ったりと、整合性を保ちつつ、それぞれの個性を出すことに挑戦した企画です。また、イメージ画も制作しました。時間があまりない中でしたが、部員全員で協力して、創立一二〇周年に見合った良い文化祭冊子を完成させることが出来たと思います。

(二年 阿部 奏音)



夢幻 三十五号

愛知県立碧南高等学校

この九月に、「夢幻」三十五号を発行することができました。「文芸同好会」から「文芸部」に昇格して二年、新入部員が八名も加入し、にぎやかに活動しています。

部誌は、毎回「テーマ」を事前にみんなで話し合って決め、その「テーマ」に沿った作品を書くことになっています。

「鍵」「眼鏡」「花」「動物園」などなど：思いつくままに「テーマ」にふさわしい単語を列挙し、「：うーん、それ難しそう。」「それ、書きたーい。」「いや、そのテーマは無理。」などと言います。その時間から、もう創作は始まっている気がします。（最終的には投票で決めます。）

今回のテーマは「恋」。比較的「恋」に不器用な(?)部員がひねり出した「恋」にまつわる作品をお楽しみくだされば幸いです。

(三年 牧 那々夏)



市立向陽高校
1年 竹谷 崇 宏